

2017年3月期第3四半期 決算説明資料

2017.2.2

TIS株式会社

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

(2017年2月2日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・TISの柳井です。よろしくお願いいたします。

2017年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2017年3月期 業績見通し

参考資料

- ・それでは、本日15:30に発表いたしました、当社の第3四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2017年3月期第3四半期(累計) 業績ハイライト

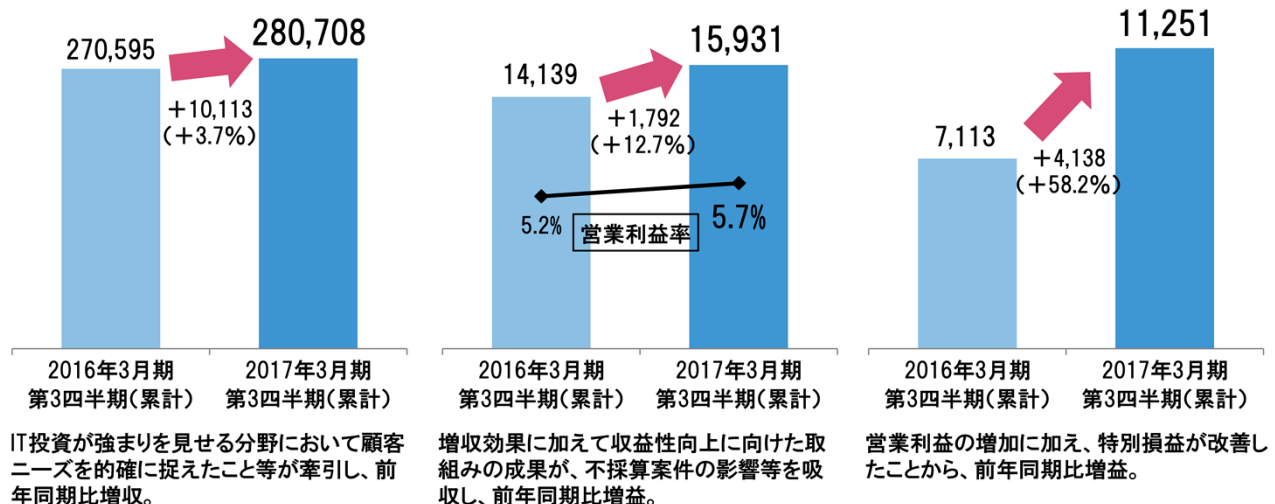
(単位:百万円)

- ・売上高は好調な事業環境を背景に伸長し、前年同期比増収。
- ・利益面は事業拡大や収益性向上の取組みが不採算案件の影響等を吸収し、前年同期比増益。

売上高 280,708百万円
前年同期比 +10,113百万円(+3.7%)

営業利益 15,931百万円
前年同期比 +1,792百万円(+12.7%)

親会社株主に帰属
する四半期純利益 11,251百万円
前年同期比 +4,138百万円(+58.2%)



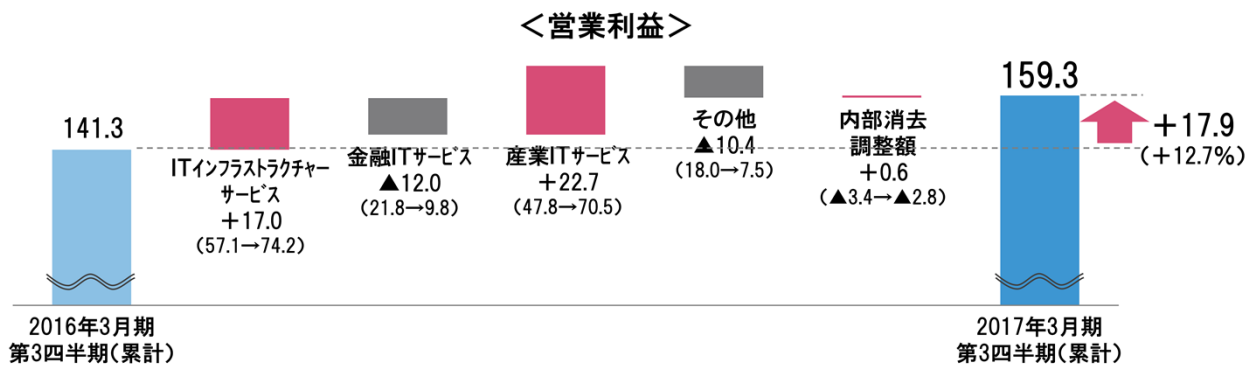
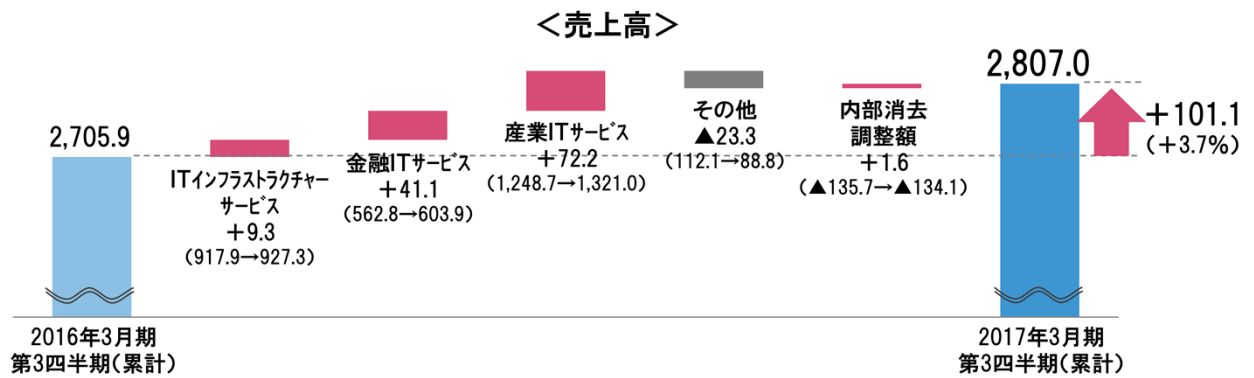
Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

3

- ・当第3四半期累計期間の業績は、前年同期比増収増益となりました。
- ・売上高は、好調な事業環境が続いていることを背景に2,807億円となり、前年同期比で101億円・3.7%の増収となりました。
- ・営業利益は前年同期比17億円増の159億円となりました。増益の要因は、増収効果や収益性向上の寄与が大きかったと言えます。
- ・また、親会社株主に帰属する四半期純利益は112億円と、前年同期比41億円増と大きく伸びました。営業利益の増加に加えて、特別損益が改善したことによるものです。
- ・当第3四半期累計期間の不採算案件についてご説明します。第3四半期累計期間では前年同期比3億円増の40億円となりました。当第3四半期(10-12月)だけをとりますと、3.5億円ということで、比較的低水準に抑制することができており、これが第3四半期業績の好調を支える大きな要因になったと考えています。
- ・なお、第2四半期に大きな引当てを行ったカード系大型開発案件は、見直し後の計画に沿って進捗しており、追加損失は発生していません。

2017年3月期第3四半期(累計) 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

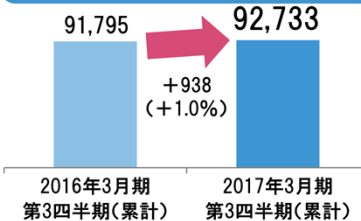
(説明省略)

2017年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

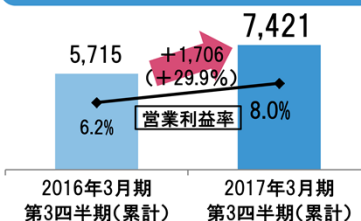
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 92,733百万円
前年同期比 +938百万円(+1.0%)



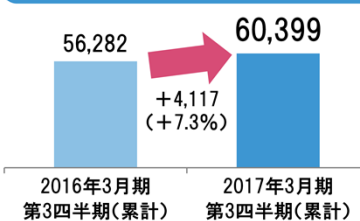
営業利益 7,421百万円
前年同期比 +1,706百万円(+29.9%)



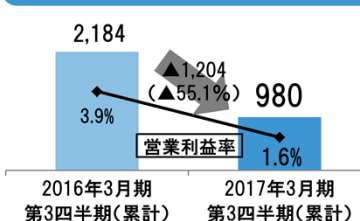
公共系大型案件の寄与等によるデータセンター事業の堅調な推移やBPO事業の拡大に加え、効率化施策の推進によるコスト削減等により、前年同期比増収増益。計画超過。

<金融ITサービス>

売上高 60,399百万円
前年同期比 +4,117百万円(+7.3%)



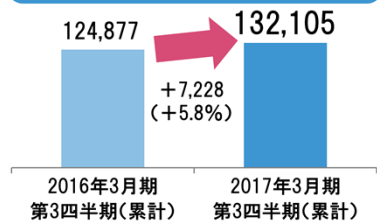
営業利益 980百万円
前年同期比 ▲1,204百万円(▲55.1%)



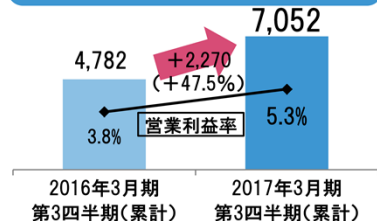
クレジットカード系を中心とした顧客の決済関連分野におけるIT投資拡大の動きを捉えた事業拡大により、前年同期比増収も、主に第2四半期に発生した大規模な不採算案件の影響により、前年同期比減益。

<産業ITサービス>

売上高 132,105百万円
前年同期比 +7,228百万円(+5.8%)



営業利益 7,052百万円
前年同期比 +2,270百万円(+47.5%)



エネルギー系顧客の活発なIT投資の継続や公共系大型案件の寄与、顧客の成長戦略に沿ったIT投資拡大の動きを捉えた事業拡大、収益性向上に向けた取組みの進展等により、前年同期比増収増益。

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

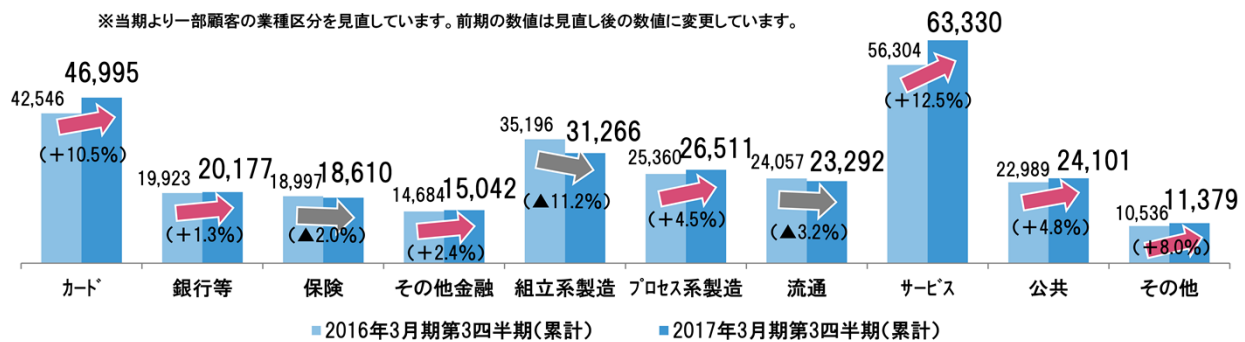
5

- ・セグメント別の状況についてですが、産業ITサービスが好調でした。これまでと同様に、電力・ガスシステム改革に伴ってIT投資が活発化しているエネルギー系、現在進行中の公共系大型案件の寄与等があり、全体業績を牽引しました。
- ・また、ITインフラストラクチャーサービスについても、データセンター事業・BPO事業とも堅調であり、加えて、効率化推進によるコスト削減の効果もあり、前年同期比増収増益となりました。
- ・一方、金融ITサービスについては、第2四半期の不採算案件の影響が大きく、前年同期比増収の中で減益となりました。ただ、第3四半期だけの業績をとりますと、前年同期比増収増益であり、ここも好調であったといえるかと思います。

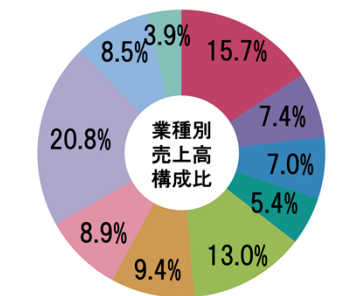
2017年3月期第3四半期(累計) 業種別売上高

(単位:百万円)

※当期より一部顧客の業種区分を見直しています。前期の数値は見直し後の数値に変更しています。

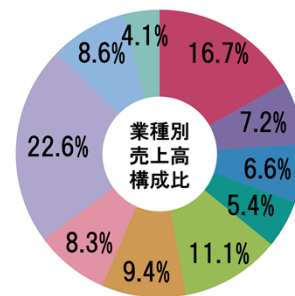


<2016年3月期第3四半期(累計)>



金融分野:35.5% 産業分野:52.1%
公共分野:8.5% その他:3.9%

<2017年3月期第3四半期(累計)>



金融分野:35.9% 産業分野:51.4%
公共分野:8.6% その他:4.1%

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

6

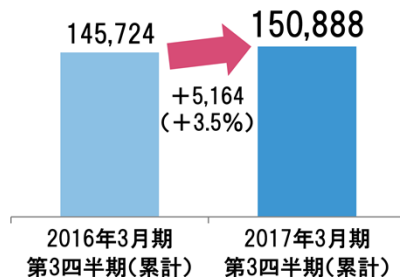
- ・業種別の売上高の状況です。左側が金融系、右側が産業・公共系となりますが、全体としては業種によってまだら模様という感じが続きました。金融系では、大型案件の寄与や決済関連分野における活発な投資動向を受けて、カードが好調だった一方、マイナス金利の影響等もあって保険が微減となりました。
- ・産業系では、サービス業が好調でした。これは、お客様自身がビジネスを拡大させるために戦略的なフロント系のIT投資を拡大させている傾向を受けてのものでした。ただ、その一方で、組立系製造や流通については、先行き不透明な景況感もあって前年同期比減収となりました。公共に関しては大型案件の寄与もあり、前年同期比増収となりました。

2017年3月期第3四半期(累計) 受注状況

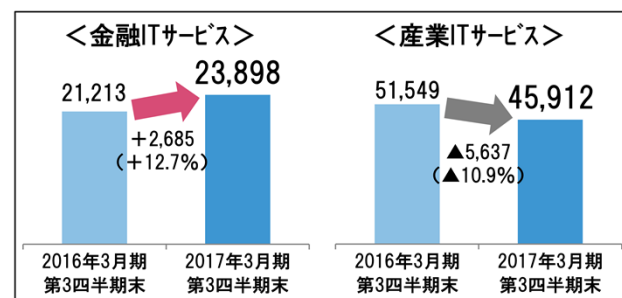
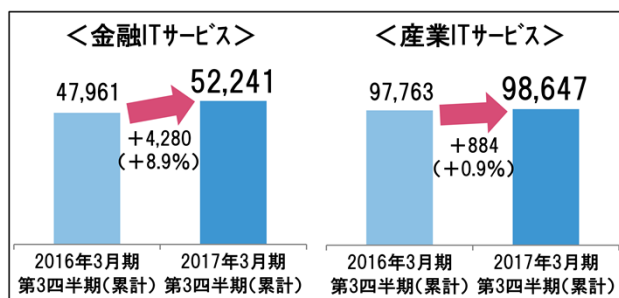
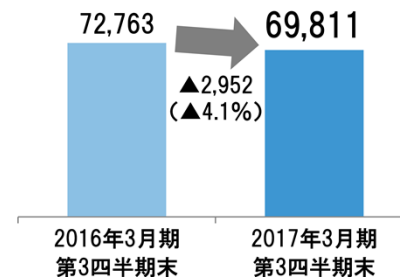
(単位:百万円)

- ・当期受注高は好調な事業環境を背景に、反動減等を吸収して前年同期比増加。
- ・期末受注残は前年同期比減少だが、主要因は公共系大型案件の進捗による減少。

当期受注高 150,888百万円
前年同期比 +5,164百万円(+3.5%)



期末受注残 69,811百万円
前年同期比 ▲2,952百万円(▲4.1%)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

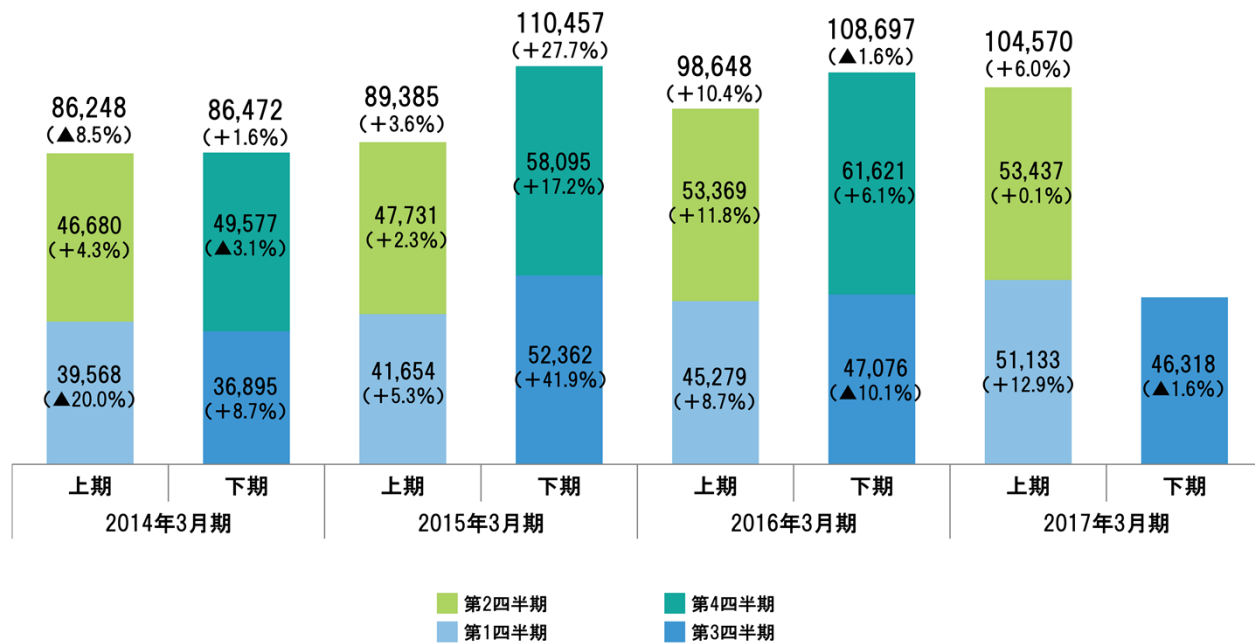
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

7

- ・次に第3四半期累計の受注状況です。
- ・当期受注高は、事業環境が良好な中で金融ITサービスを中心に着実な積み上げができたことから、前年同期比3.5%増の1,508億円となりました。
- ・8ページ・9ページには四半期別の推移を載せています。お気づきかとは思いますが、第3四半期だけでみると、全体の受注高は、産業ITサービスの減少を受けて、前年同期比で1.6%の微減となっています。
- ・これは、前期の第3四半期において、大型案件に伴うまとまった受注高を計上したことの反動減等によるものです。第4四半期の受注高は、比較的底堅いものと考えていますので、今回のマイナスは一時的なものということで考えています。
- ・期末受注残は、前年同期比29億円減少の698億円となりました。これは、過去に一括計上した公共系大型案件が進捗し、売上高計上・受注残減少となったものです。それを除いたベースでは、小幅増となっています。
- ・以上が、第3四半期決算の実績に関する説明となります。

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

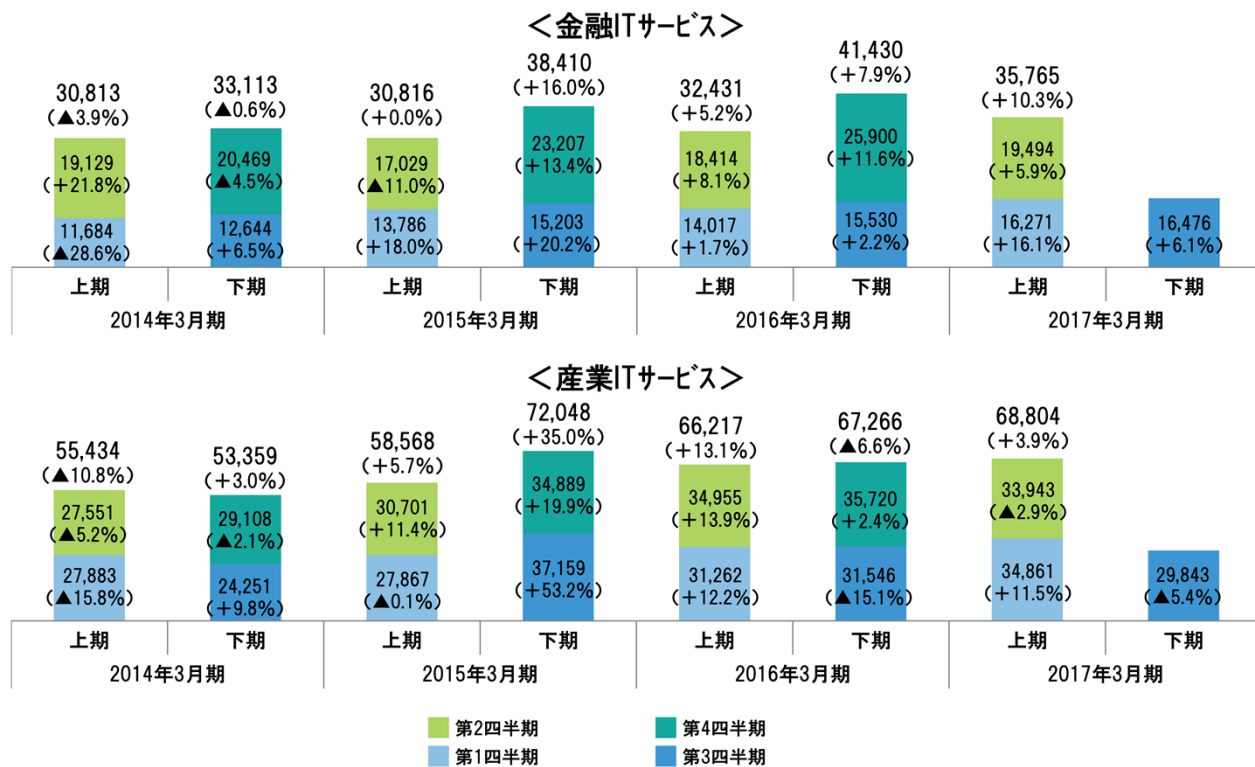
当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

8

(説明省略)

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみのみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

9

(説明省略)

2017年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2017年3月期 業績見通し

参考資料

それでは、続いて通期業績見通しについてご説明します。

2017年3月期 業績予想ハイライト

(単位:百万円)

・前期比増収増益の計画。顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行を図るとともに、生産性向上をはじめとする収益向上施策を推進。
⇒全体としては概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更はなし。

売上高 390,000百万円

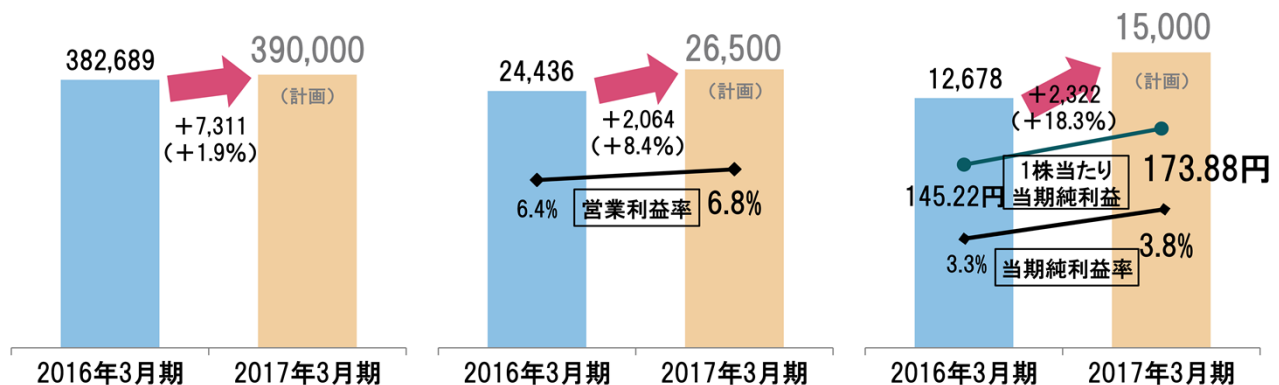
前期比 +7,311百万円(+1.9%)

営業利益 26,500百万円

前期比 +2,064百万円(+8.4%)

**親会社株主に帰属
する当期純利益 15,000百万円**

前期比 +2,322百万円(+18.3%)



顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行等により、前期比増収を見込む。

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

増収効果のほか、生産性向上をはじめとする収益向上施策を推進することにより、前期比増益を見込む。不採算案件の抑制にも注力。

営業利益の増加等により、前期比増益を見込む。

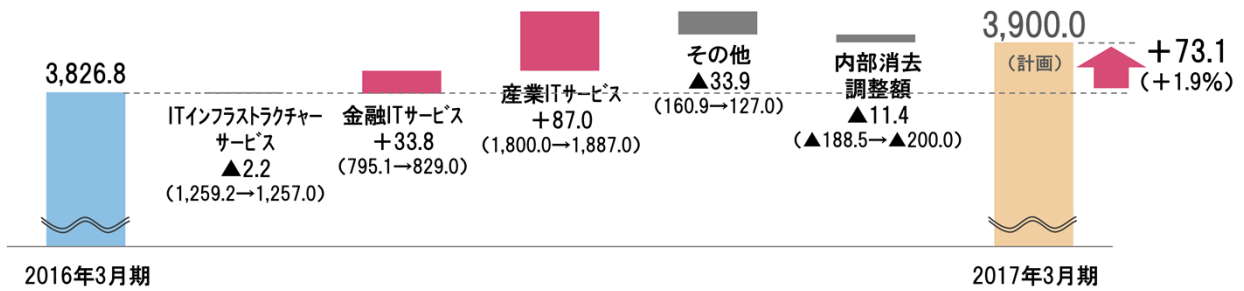
11

- ・2017年3月期の通期業績見通しについては、期初計画からの変更はありません。売上高は前期比1.9%増の3,900億円、営業利益は前期比8.4%増の265億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.3%増の150億円の増収増益の計画です。
- ・第3四半期の業績好調を受けて、第3四半期累計期間での通期に対する進捗率は前年同期よりもよい状況にあります。上期時点では計画をやや下回った営業利益についても、ビハインドを取り戻したと考えており、通期計画達成への手応えは強まってきている状況です。
- ・事業拡大や不採算案件の抑制継続等、第4四半期をしっかりと仕上げることに注力し、期初計画の達成に邁進してまいりたいと考えています。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

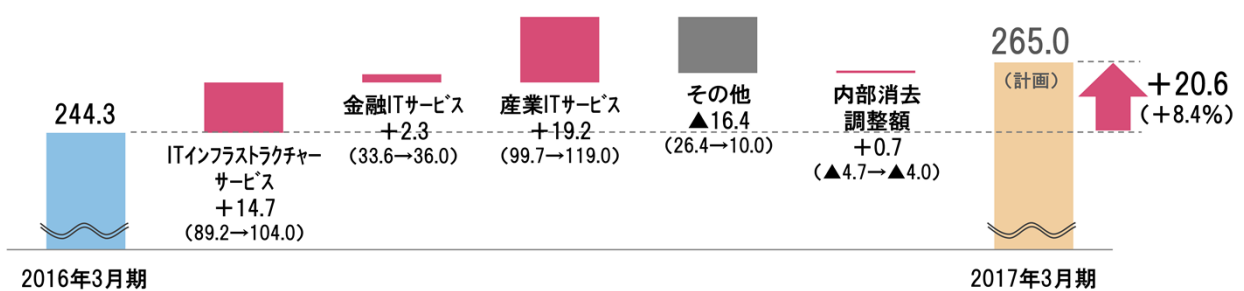
2017年3月期 売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

12

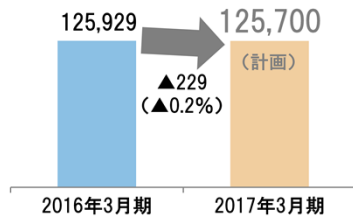
(説明省略)

2017年3月期 主要セグメント別損益状況(予想)

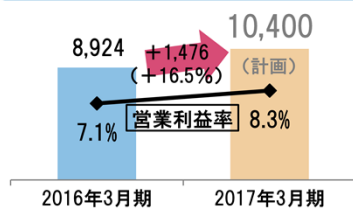
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 125,700百万円
前期比 ▲229百万円(▲0.2%)



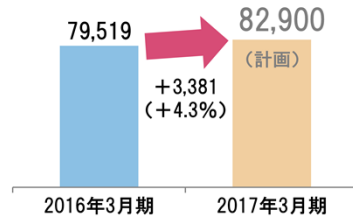
営業利益 10,400百万円
前期比 +1,476百万円(+16.5%)



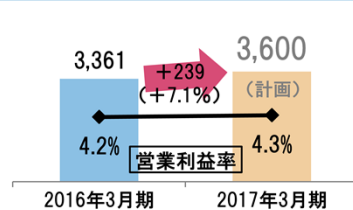
前期比減収計画は組織再編影響等によるものであり、実勢ベースではコスト削減効果等の寄与もあり、前期比増収増益を見込む。

<金融ITサービス>

売上高 82,900百万円
前期比 +3,381百万円(+4.3%)



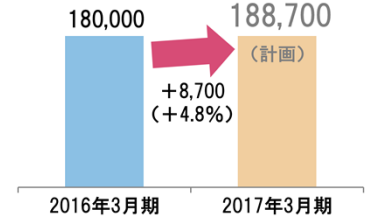
営業利益 3,600百万円
前期比 +239百万円(+7.1%)



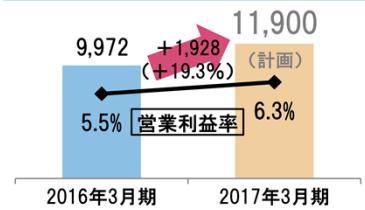
上期における不採算案件の影響等はあるものの、大型開発案件の寄与をはじめとする事業拡大等により、前期比増収増益を見込む。

<産業ITサービス>

売上高 188,700百万円
前期比 +8,700百万円(+4.8%)



営業利益 11,900百万円
前期比 +1,928百万円(+19.3%)



全体的なIT投資拡大に伴う成長に加え、不採算案件抑制や生産性向上等により、前期比増収増益を見込む。

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

13

(説明省略)

2017年3月期第3四半期(累計) 業績概要

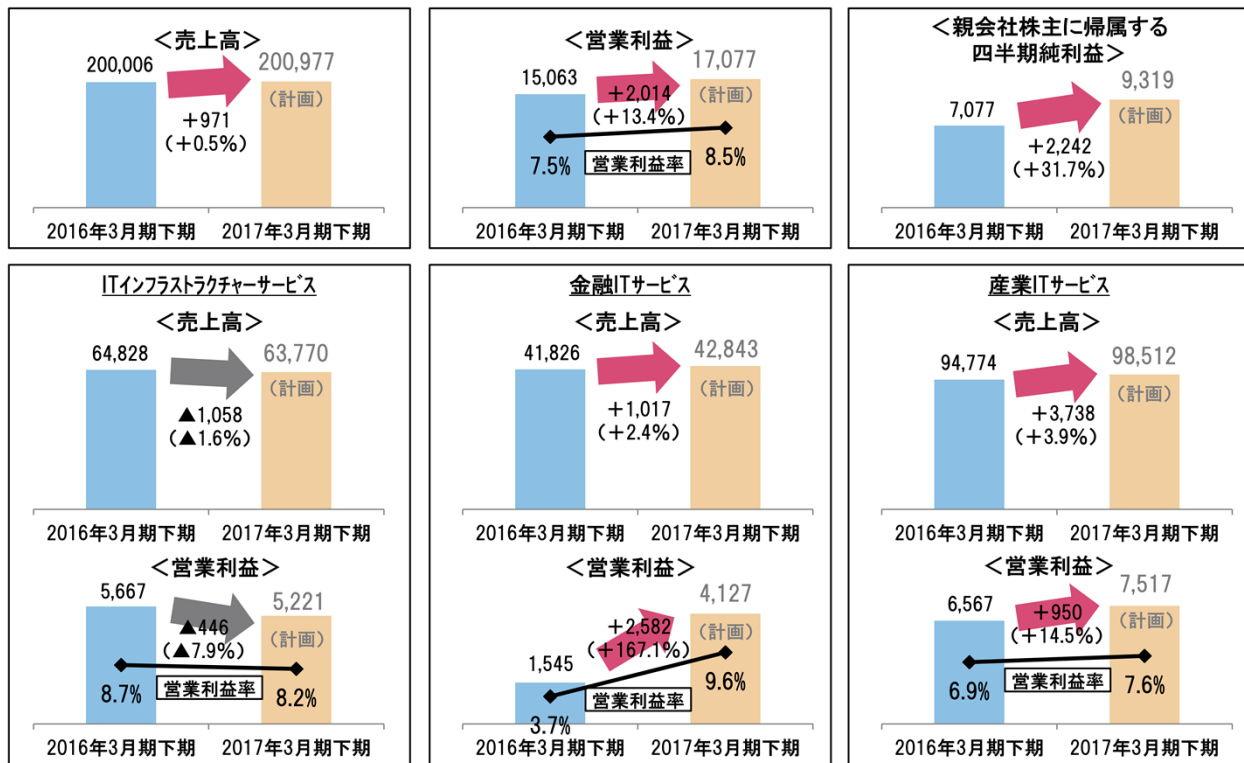
2017年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2017年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

15

(説明省略)

2017年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ

発表日付	タイトル
2016年10月3日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2016年10月4日	AJSの人事考課システム『P-TH』新バージョン販売開始
2016年10月6日	インテック、「富山ブロックチェーン研究会」を発足
2016年10月14日	インテック、かながわロボットイノベーション2016に出展
2016年10月17日	インテック、常陽銀行へ「F ³ Mobile First(エフキューブ モバイルファースト)」を導入
2016年10月21日	TIS、AIを活用した融資審査モデルを提供するベンチャー株式会社ココペリインキュベートへ出資
2016年10月26日	TISとシンガポールテレコム、セキュリティサービスの日本展開で業務提携
2016年10月26日	インテック、「レジリエント・シティサミット」に協賛
2016年10月27日	TIS、クラウドID管理サービス「OneLogin」の販売代理店契約を締結
2016年10月31日	「ネクスウェイのインサイドセールス」でJストリームのインサイドセールスを強化
2016年11月1日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2016年11月14日	大阪大学 サイバーメディアセンターとTISが、「IoT資源の共有プラットフォームに関する研究」を開始
2016年11月2日	ネクスウェイ、業界初“食べられる年賀状”“温まる年賀状”をリリース！
2016年11月10日	LGBTをはじめとする性的マイノリティの正しい知識の習得を目的としたeラーニング教材「セクシュアリティ基礎知識-LGBT・性的マイノリティを知る-」の提供開始について
2016年11月14日	TISの『FAST TRACK』が、コンテンツ・マネジメント・プラットフォーム「Box」、クラウドアクセス管理「OneLogin」と連携
2016年11月15日	連結子会社の人事異動および機構改革のお知らせ
2016年11月24日	TIS、与信管理ソリューション『SCORE LINK』の海外対応版を提供開始
2016年11月28日	TIS、生命保険会社向けソリューション『sosiego(ソシエゴ)』の提供を開始
2016年11月29日	インテック、帳票公開ソリューション「快速サーチャーGX」に新機能を追加
2016年11月30日	TIS、『AWSプレミアコンサルティングパートナー』に2017年も継続認定
2016年11月30日	TISが、H:Oリテイリンググループのペルソナの管理会計システムにオラクルの予算管理クラウドを導入
2016年12月1日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2016年12月1日	TIS、三菱東京UFJ銀行のスマートフォンアプリ『My Money』の構築を支援
2016年12月5日	アグレックス、青森県・つがる市および日本生命と連携し、保険契約申込バックオフィス業務を通じて、地方創生に寄与
2016年12月20日	TIS、個性を学習するパートナーロボット「unibo(ユニボ)」の開発ベンチャーユニロボットへ出資
2016年12月20日	AJS、ファイア・アイ社と製品販売パートナー契約を締結
2016年12月21日	TIS、リテール決済ソリューション『PAYCIERGE』を新たなコンセプトで展開
2016年12月26日	クオリカ、タッチパネル専用ブラウザソフト「QSBrowser」を発売
2016年12月26日	インテック、クラウドサービスに特化した国際規格ISO/IEC 27017に基づく『ISMSクラウドセキュリティ認証』取得

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

16

(説明省略)



(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ(TISおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

(説明省略)